

# 陸上無線 情報

## 第38号

平成26年冬季号

〒900-0036 沖縄県那覇市西1丁目5番地8号

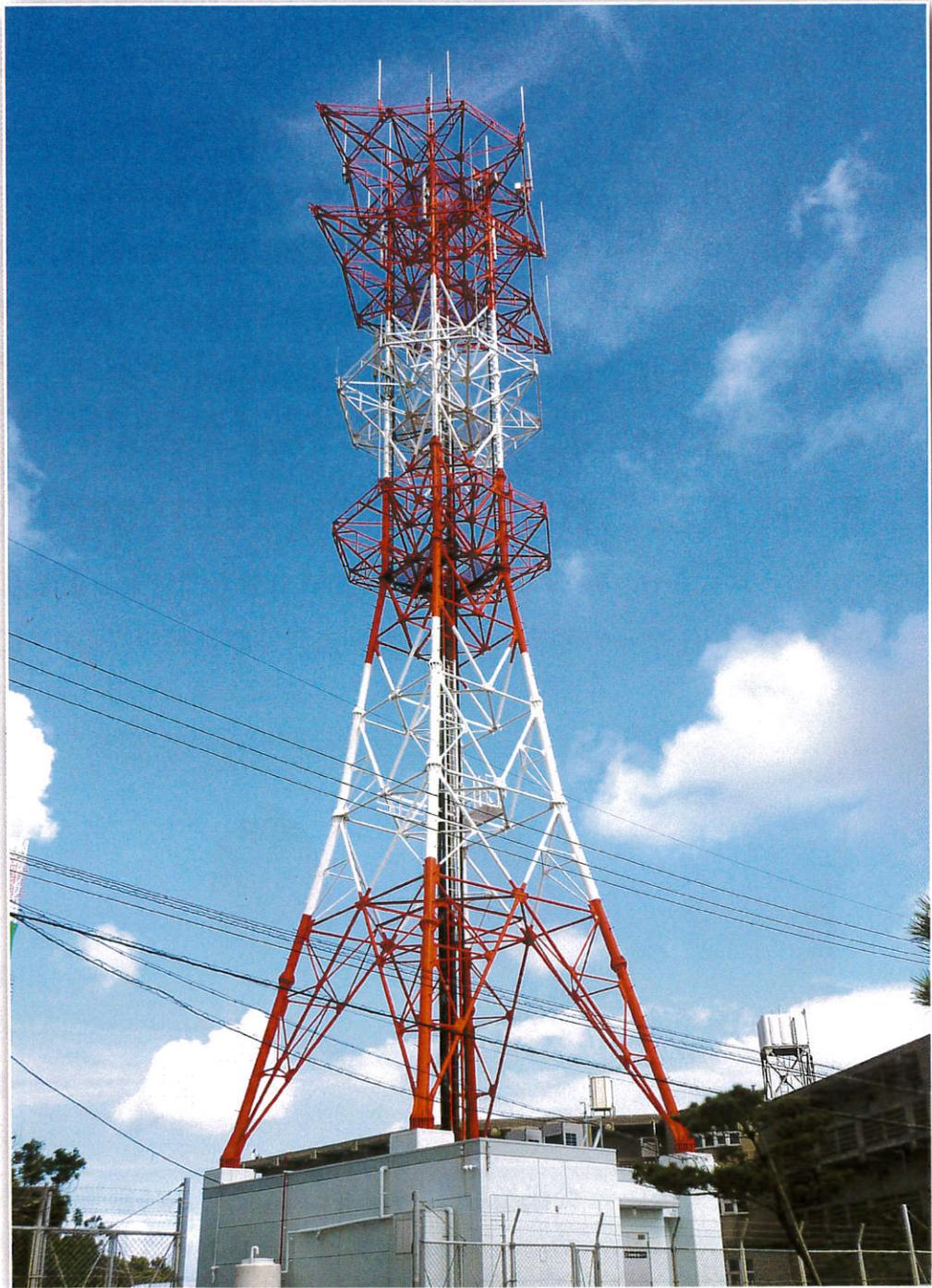
TEL (098)868-3312

FAX (098)868-3314

E-mail:info@o-idoumusen.or.jp

<http://www.o-idoumusen.or.jp>

一般社団法人 沖縄移動無線センター



新川集中基地局

# 明けましておめでとうございます

## 今年も宜しくお願い申し上げます

会 長	親 泊 一 郎	日本トランスオーシャン航空株式会社 取締役会長
副 会 長	入松田 元	セコム琉球株式会社
副 会 長	豊見山 安 一	株式会社那覇ハイヤー 代表取締役社長
理 事	仲 程 力	沖縄県個人タクシー事業協同組合 副理事長
理 事	玉 寄 兼 志	パンダグループ無線 代表理事
理 事	湧 川 昌 秀	沖縄ガス株式会社 代表取締役会長
理 事	田 中 稔	沖縄セルラー電話株式会社 執行役員
理 事	島 袋 武	沖縄乗用自動車事業協同組合 代表理事
専務理事	生 盛 孫 賢	一般社団法人沖縄移動無線センター
監 事	仲 田 盛 生	ペンギングループ無線 代表理事
監 事	知 花 敦	サミットインダストリアル株式会社 代表取締役



写真提供：入松田副会長 撮影場所：与那国島 東牧場

# 目 次

<b>新年のご挨拶</b>	一般社団法人沖縄移動無線センター 会 長 親 泊 一 郎	1
<b>新年のご挨拶</b>	総務省沖縄総合通信事務所 所 長 上 原 仁	2
<b>総務省沖縄総合通信事務所情報</b>		
1	ICTの活用による地域活性化	3
2	災害に強いブロードバンド環境の整備	3
3	消費者支援の充実とネットリテラシーの向上	3
4	地デジ受信困難世帯の解消へ向けて	3
5	市町村防災行政無線等の地域住民への情報伝達システムについて	4
6	周波数の有効利用	4
7	無線局に関する「電子申請」利用の促進	4
8	「不法無線局未然防止強化期間」の取組	5
9	MCA制御局に携帯電話抑止装置（通称「携帯ジャマ-」）による障害	5
	<b>接遇・デジタル無線配車セミナーについて(報告)</b>	6
<b>お知らせ</b>		
1	ホームページ、リニューアルしました	10
2	「電波協力会講演会2014」を協賛開催予定	10
3	タクシー無線のデジタル化設備に対する低利融資制度が実現	11
4	鉄塔・局舎の電気設備年次点検の実施（報告）	11
5	第3回理事会の開催	11
6	株式会社那覇ハイヤー・株式会社沖縄急送退会	11
7	タクシーのデジタル無線局導入状況	12



## 新年のご挨拶

一般社団法人 沖縄移動無線センター  
会長 親 泊 一 郎

明けましておめでとうございます。

会員の皆様方におかれましては2014年の新年をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は当センターの事業運営に対し格別のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、東京オリンピックの開催決定や楽天チーム初優勝の喜ばしいニュースが東北を盛り上げました。一方で、なかなか解決しない福島原発、尖閣問題、特定秘密保護法などで騒がしい年でした。

さて、当センターでは、昨年、「接遇・デジタル無線配車セミナー」を開催しました。

タクシー事業者の代表者、乗務員、配車係など65名の参加があり、参加者から「“接客”“接遇”の大切さを痛感させられた」、「オペレーターの勤務体勢など参考になるお話を多く聞くことができた」などの感想がありました。

来たる3月26日には、沖縄県産業支援センターにおいて沖縄電波協会が主催し総務省沖縄総合通信事務所等が後援する「電波協会講演会2014」を協賛により開催することとしております。内容は、施策説明「ICT成長戦略」と講演「移動体通信の災害対策とデジタル化の促進」を予定しておりますので多数の皆様の参加をお願いいたします。

タクシー無線のデジタル化への移行期限は平成28年5月末で残すところ2年半となりました。当センターの集中基地局は既にデジタル化に対応する施設に整備済みです。

デジタル化した会員の方から、「配車効率がアップした」、「営業区域が広がり顧客が増えた」などの声があります。

最近ではスマートフォン配車や携帯電話網を利用したIP無線システムが広まりますが、災害時、有線通信や携帯電話などが輻輳したとき、自営の移動通信であるタクシー無線は、あらゆる場所から事業所との連絡が可能であることから、タクシー事業用無線が本流だと思います。

県内のタクシー業界では、燃料費の高騰で厳しい経営環境にあり、業界の自助努力では既に限界を超えているとして、県や国に燃料費助成などを要請していると伺っておりますが、今年4月以降からはデジタル方式の導入に必要な設備資金について、長期にわたり低利で融資を受けることができるようになりますので、低利融資制度を活用し、早期に自社の配車実態に則したデジタル化方式を選択し事業運営につなげるよう願っております。

今年も施設の保守管理体制を強化し、健全運営に邁進する所存でございますので、当センターへのご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員皆様方のご健勝と事業の発展を祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

総務省 沖縄総合通信事務所  
所長 上 原 仁

明けましておめでとうございます。

年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

一般社団法人沖縄移動無線センター及び会員の皆様には、日頃から情報通信行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

総務省では、昨年6月に「ICT成長戦略」を策定し、ICTによる経済成長と国際社会への貢献のため、G空間（地理空間）情報の利活用、ビッグデータ・オープンデータの利活用、4K・8Kと呼ばれるスーパーハイビジョンテレビ早期放送開始、放送コンテンツの海外展開、研究開発の推進、世界最高レベルの通信インフラの整備などの目標や取り組みを定め、スピード感をもってこれらの推進に努めているところです。

こうした中、沖縄総合通信事務所では、「ちばりよー沖縄！島人ぬ絆と未来へICTで貢献」をテーマに「元気をつくる」、「みんなの命・安心をまもる」、「便利なくらしをつくる」を目標に掲げ、ICTで貢献する取組みを強化しているところです。

このため、誰もがICTを安心・安全に利用することができる環境を実現するため、サイバー攻撃を始め情報セキュリティ上の脅威への対応、消費者支援の充実とネットリテラシー向上、放送等による災害対策の促進、船舶の安全運航を目的とする無線通信システムの普及促進、

重要無線通信妨害対策、不法・違法無線局等の対策、地域の安心・安全に役立つ電波利用の普及を推進します。

電波は、携帯電話やテレビなどの身近なものから、警察、消防・救急、航空、船舶、防災など公共性の高い無線通信や、さらには物流管理や食の安全性、医療、交通、ホームネットワークやロボットなどの様々な分野において利用され、社会基盤の構築にあたって重要なものになっています。

特に、電波を利用した情報通信システムは、災害時における重要な情報伝達手段として活用されるなど、国民生活において、公共性が高く、欠くことのできない社会インフラになっています。

県内においても災害時における通信体制を確保するため、防災行政無線や消防救急無線などの防災情報通信システムの普及促進を図ります。また、タクシー無線をはじめとする各種無線システムのデジタル化による高度化にも取り組んでまいります。

このように電波利用が多様化し、その社会的重要性が増す中で、貴センターの果たす役割はますます重要になっており、今後、更に活動が発展・充実されることを期待しております。

結びに、沖縄県内における移動体通信がますます普及・発展し、地域経済に貢献されることと貴センターのますますの発展を祈念して、新年のご挨拶といたします。

# 総務省沖縄総合通信事務所情報

## 1 ICTの利活用による地域活性化

沖縄総合通信事務所では、地域が抱える諸課題を解決し、経済の活性化・雇用の創出等を図るため、ICTを活用した新たな街づくり実証プロジェクトを久米島町「豊麗のしま-久米島-地域経済活性化プロジェクト」、名護市「ICT Smart Hub タウンモデル構築及びASEAN地域への展開事業」にて実施しています。また、ICTにおけるイノベーションの創出、研究者の研究開発能力の向上等を目指す、戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）について、今年度は管内において3件実施しており、研究開発の成果展開が図られるよう支援してまいります。さらに、沖縄デジタル映像祭の開催により、地域デジタルクリエイターなどの育成とメディアコンテンツの制作を促進しています。

## 2 災害に強いブロードバンド環境の整備

災害に強いブロードバンド環境の整備のために、沖縄県等自治体と連携して超高速ブロードバンドの未整備地域の整備を進め、災害時に備えたネットワークの強じん化のための二重化、地中化を推進してまいります。

## 3 消費者支援の充実とネットリテラシーの向上

スマートフォン、携帯電話の急速な普及により、青少年がトラブルに巻き込まれる事案が多発しています。青少年を始め多くのインターネット利用者がインターネットを安心・安全に利用できる環境を整備するため、「e-ネット安心講座」を実施しています。また、情報通信サービスの高度化等に伴い、利用者が快適に情報通信サービスを利用できるように電気通信相談窓口を設けています。さらに、総務省、消費生活センター、電気通信事業者の連携による「沖縄電気通信消費者支援連絡会」を開催し、消費者から寄せられる苦情・相談に対する迅速な解決や未然防止に向けた連携を進めています。

## 4 地デジ受信困難世帯の解消へ向けて

平成25年12月末現在での地上デジタル放送の受信困難世帯は約200世帯にまで減少しました。これらの世帯がクリアな画面でテレビをご覧になれる様、中継局の建設工事が進行中で平成26年3月中に完成の予定です。

県内の一部地域では、暫定的衛星放送利用世帯が残っているため、この暫定サービス

が終了する平成27年3月末までに、ご自分でアンテナを設置して頂くか、ケーブルテレビに加入して頂く必要があり、対象世帯へのお知らせを徹底いたします。

また、県内のケーブルテレビ3社が行っている「地上デジタル放送のアナログ変換サービス」についても平成27年3月末の終了に向け、サービス利用世帯の状況把握に取り組んでいます。同時にケーブルテレビが展開されている市町村に対し、アナログ変換放送終了の広報について御協力をお願いしています。

## 5 市町村防災行政無線等の地域住民への情報伝達システムについて

沖縄管内での同報系市町村防災行政無線(MCA 代替え含む)の整備率は、平成25年3月末現在において約88%（41市町村中36市町村で整備済）となっており、1年前の同時期より5ポイント増加したものの、依然全国平均より7ポイント低い整備状況にあります。

このうち、デジタル方式を整備した自治体は平成25年12月末現在において約43%（19市町村で整備済）で、1年前の同時期の約24%から大きく増加しています。

一方で、同報系情報伝達システムを有しない自治体もあることから、引き続き当該自治体に対し整備の働きかけを行ってまいります。

また、防災行政無線以外の各種情報伝達システムも各自治体において多種多様な形態で導入が進められていることから、自治体との連携を密にし、電波利用による住民等への情報伝達システムの整備充実を進めてまいります。

○同報系市町村防災行政無線(MCA 代替え含む)の整備率（平成25年3月末）

沖縄管内	全国平均
87.8%	94.8%

## 6 周波数の有効利用

未割当及びホワイトスペース（地上テレビジョンデジタル放送の導入による周波数の空きスペース。）等既存の周波数帯の有効活用のための周波数再編については、携帯電話のLTE化等に伴う700/900MHz帯の周波数の再編において、既存システムの周波数移行がよりスムーズに進められるよう関係の団体、事業者との調整、ヒアリング等の実施、指導等を行うとともに周波数帯の移行における今後の問題点、課題等について説明会等を実施しました。また、特定実験試験局などのニーズ調査を実施し、大学等からの電波利用ニーズに随意対応してまいります。

## 7 無線局に関する「電子申請」利用の促進

電子申請については、特にアマチュア無線局において平成25年11月末現在の電子

申請率が67.9%となり、昨年度末の27.9%から大幅に向上しましたが、引き続き無線局の免許人や申請代理人等の関係団体に対し、電子申請の活用を積極的に推奨していきます。

## ⑧ 「不法無線局未然防止強化期間」の取組

総務省沖縄総合通信事務所では、毎年2月1日から2月28日までの1ヵ月間を「不法無線局未然防止強化期間」と定めて、不法無線局による混信その他の妨害から正しく無線局を運用している電波利用者を保護し、良好な電波利用環境を維持・推進するための取組みを強化して行っています。

期間中、ラジオCM・新聞広告による周知啓発、タクシー車両への車体ステッカー広告の貼付、漁港への横断幕の掲出を行うなど「電波利用のルール」について周知・啓発を行うとともに、捜査機関の協力を得て、不法無線局の取締りを行うこととしています。

## ⑨ MCA制御局に携帯電話抑止装置（通称「携帯ジャマ-」）による障害

沖縄管内で携帯電話抑止装置による障害事例がありましたのでご紹介します。

沖縄総合通信事務所では、平成25年1月（一財）移動無線センター関東センター沖縄事務所から「本部制御局に外来電波による障害があり通信に支障を来している。」との申告を受け、同事務所と合同で混信調査を実施しました。その結果、今帰仁村の住宅に設置されていた不法無線局（携帯電話抑止装置）を発見し排除しました。なお、設置者の話によると、電話や会話が盗聴されているなどの理由から携帯電話抑止装置を購入・運用したとのことでした。

また、同年6月には那覇制御局でも同様な障害があり調査したところ、西原町の住宅に設置されていた不法無線局（携帯電話抑止装置）を発見し排除しました。この設置者も、自宅内の電話や会話が盗聴されているとして同装置を購入・運用したとのことでした。



今帰仁村の住宅で発見した  
携帯ジャマ-の外観



西原町の住宅で発見した  
携帯ジャマ-の外観

## 接遇・デジタル無線配車セミナーについて(報告)

当センターでは、平成25年10月22日（火）那覇市の（一社）沖縄県ハイヤー・タクシー協会会館において「接遇・デジタル無線配車セミナー」を開催しました。各タクシー事業者から代表者、乗務員、配車係など65名の参加者がありました。概要を報告します。



《講演する皆田氏》

### 【講演 1】

講師：損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント株式会社福岡事務所  
シニアコンサルタント 皆田俊晴 氏

### ◎好印象を与える接遇の基本

接遇とはお客様を「もてなす心」「思いやる気持ち」を持って接すること。「心のサービス」の心は、その人の表情、挨拶の仕方、言葉遣い、態度等に出てくるもの。

特に出会いの第一印象は重要です。第一印象は数秒で決まるそして3年記憶に残る。一人の従業員の印象が会社の印象を決めます。

接遇の基本の5項目は、

#### ① 笑顔

お客様を笑顔にするのは、あなたの笑顔です。自分のステキな笑顔をつくって見よう。

#### ② 整った身だしなみ

お客様に対する身のたしなみ、不快感・嫌悪感を与えないこと。

#### ③ 心のこもった挨拶

コミュニケーションの始まり、お客様の目を見て大きな声でハッキリと。

#### ④ 感じのよい言葉遣い

言葉遣いは「心遣い」お客様に対する「敬意」を表現したもの。

#### ⑤ スマートな動作・態度

動作・態度は目に入る情報、お客様に対する思いやり・熱意・誠意を表現したもの。

「いつもお客様と一番近くで仕事をしているあなたが会社の代表です。皆さん、笑顔でのサービスを心がけましょう。」と接遇について締めくくりました。

### ◎交通事故ゼロを目指して

常に安全運転を心がけていても事故は起こります。事故の75%は安全不確認、脇見運転、動静不注視、漫然運転などの道路交通違反で発生していますがその運転行

動の背景にはこのくらいは大丈夫・安全だという心理が有ります。

安全を創り出す運転とは、

- ① 常に予知予測運転をする
- ② 時には優先権を放棄する
- ③ 思いこみ運転はしない
- ④ 冷静な運転
- ⑤ 自分の存在・行動を知らせる

ということです。これらの基本をどんな時でも安全意識をもってやり続けることが安全運転に繋がります。



《講演する金丸無線室室長》

#### 【講演2】

講師：福交運輸事業協同組合 福交無線センター  
無線室室長 金丸恵子 氏

講演の前に、田代事務局長から講師の紹介と「タクシー事業は旅客輸送サービス業であり、接客サービス業であります。お客様からのクレームには誠実に対応しています。固定客になって頂くチャンスです。」と接客についてお話を頂きました。

#### ◎福交グループの接遇

無線配車室の心がけとして、お客様より電話をお受けしたら、「お電話有り難うございます。〇〇センターの〇〇でございます。」この初めの言葉が一番大切でお客様に好印象を与えることが大事だと思います。お客様に好印象を持ってもらうには、自然の笑顔とハキハキと迷いのない言葉でお客様の立場に立った接客が出来るように取り組んでいます。朝、仕事に就く前には言葉がスムーズになるよう発声練習をしたりします。お客様からの電話を確実に受け実車まで責任を持って対応すること、また引き継ぎをしっかりとすることも心がけています。

無線配車で乗務員が迷った場所等については、実際にオペレーターが行く事もあります。無線室のレベルアップに繋げ、質の高いサービスを目指しています。

#### ◎デジタル無線配車

デジタル無線の利点について、お客様より依頼があった場所に乗務員はカーナビの誘導に従って行けば間違えることは無くなりました。乗務員が配車室からのメッセージを音声だけでなくモニターで確認出来るのでお客様の名前、マンション名の間違ひも無くなりました。配車室と乗務員との連携が良くなり、よりきめ細かいサービスが出来るようになりました。

新しい乗務員については、無線センターの方で接遇・カーナビ操作等の講習を受

け修了書を貰わないと乗務ができないことや、お客様より苦情が入った乗務員については、一日・一週間・一ヶ月・一年と苦情の程度によって無線配車をブロックしていることなど、配付の「操作マニュアル」を使用しながら説明がありました。

説明終了後、参加者からオペレーターの言葉遣い、交代時の引き継ぎ方法、福交運輸の配車件数、乗務員の訓練等についての質疑応答がありました。

#### ◎福交運輸のクレーム処理について

お客様にご迷惑をかけた事を丁重にお詫びすると共に内容を十分に聞いて迅速な対応を心がけています。

お客様からのクレームは、お客様にお会いできる絶好のチャンスであり、クレームを言ってくださるお客様に素早く対応することで、今まで以上のお得意様になって頂けます。クレームがあればすぐに相手先に出向き謝罪します。それだけでもお客様はすぐ対応してくれたと怒りが柔らかくなります。

クレームで謝罪に行ったお客様と仲良しになり今まで以上のコミュニケーションがとれるようになっていきます。

訳のわからないクレームを言うてくる方もいますが、どんなクレーマーにも逃げずには解決しません。そんな時は開き直って肝を据えて本音で向かい合えば解決するように思います。

#### ◎参加された皆さんから感想を頂きました。

Kさん：今回セミナーに参加し“接客”“接遇”の大切さを痛感させられました。会社の第一印象は最初の数秒で決まるということ。お客様を満足させる事で次へと繋がっていくのだと改めて考えさせられました。無線室長さんのお話には共感出来ました。他の無線局の取り組み、具体的な場合への対処の仕方など参考になりました。

Tさん：「企業のブランド力をつけて基本的な接客に接遇をプラスする事で他社との差別化を図る！」という内容に感銘いたしました。また事務局長のクレーム対応の敏速さには感動しました。

Uさん：金丸さんのお話には失敗談など無線局の一員として共感する点がありました。苦情への対応の素早さやオペレーターの勤務体制など参考になるお話も多く聞くことが出来ました。セミナー修了後も細かい質問に丁寧にお付き合い頂き、とても有意義な経験となりました。

Nさん：勤務年数が増すにつれて、お客様に対して、気持ちよく利用してもらおうという気持ちが薄くなっていました。初心に戻り、接客態度、改めて意識するようになりました。

## 接遇・デジタル無線配車セミナー



皆田氏はプロジェクターを使用して説明



金丸無線室室長は配付資料で説明



熱心に耳を傾ける参加者



質問する参加者



質問する参加者

## デジタル無線配車セミナー



質問に答える田代事務局長・金丸無線室室長



セミナー終了後も質疑応答

## お知らせ

### 1 ホームページ、リニューアルしました。

この度、当センターではホームページをリニューアルしました。当センターの活動状況並びに会員様への情報伝達手段としてホームページを利用いたしますので、今後ともよろしくお願いたします。

リニューアルに伴い独自ドメインを取得しましたので、「お気に入り」に登録されていた方は新しいアドレスへの変更をお願いいたします。

新ホームページ : <http://www.o-idoumuse.or.jp>

新メールアドレス : [info@o-idoumuse.or.jp](mailto:info@o-idoumuse.or.jp)

### 一般社団法人 沖縄移動無線センター

沖縄本島中南部をサービスエリアとしています。

- トップページ
- お知らせ
- 沿革
- 定款
- 役員名簿
- 貸借対照表
- リンク集

一般社団法人  
沖縄移動無線センター  
900-0036  
沖縄県那覇市西1丁目5番  
地3号207  
TEL 098-868-3312  
FAX 098-868-3314



会員募集! お問い合わせ

インフォメーション  
2014年1月10日  
◎ホームページ、リニューアルしました。  
◎「電気設備年次点検」記事を追加しました。  
◎「タクシー無線のデジタル化」記事を追加しました。

新川中支地局	
場所	沖縄県南風原町字新川伊武志川
海拔高	192.0m
空中線高	地上高 44.0m
エリア	沖縄本島中南部(特殊な地域を除く)
設備	<<エリアマップ図を見る>> 非常用発電機(100KVA)

### 2 「電波協力会講演会2014」を協賛開催予定

当センターでは、3月26日(水)、沖縄県産業支援センターにおいて沖縄電波協力会との協賛により「電波協力会講演会2014」を開催する予定です。

内容は、施策説明「ICT成長戦略」と講演「移動体通信の災害対策とデジタル化の促進」を予定しておりますので多数の皆様のご参加をお願いいたします。

追ってご案内いたします。

### 3 タクシー無線のデジタル化設備に対する低利融資制度が実現

タクシー無線のデジタル化設備に対する低利融資制度が実現しました。

今年4月以降からはデジタル方式の導入に必要な設備資金について、長期にわたり低利で融資を受けることができるようになります。

詳細につきましては、追って周知いたします。

### 4 鉄塔・局舎の電気設備年次点検の実施（報告）

一般財団法人沖縄電気保安協会により、電気事業法に基づいて去る1月22日（水）12：00～13：00の間に電気を切断して実施いたしました。

点検の結果、各回線とも異常なしでした。ご協力ありがとうございました。

### 5 第3回理事会の開催

本年5月に開催予定の平成26年度定時総会に向けて、予算、事業（案）等について審議するため、平成25年度第3回理事会を3月中旬、ネストホテル那覇（旧沖縄ポートホテル）で予定しております。詳細につきましては、追ってご案内申し上げます。

### 6 株式会社那覇ハイヤー・株式会社沖縄急送退会

株式会社那覇ハイヤー（代表取締役社長豊見山安一）は平成25年10月1日付けをもって退会しました。株式会社那覇ハイヤーは平成3年入会以来23年に渡りタクシー無線の効率的な電波利用を推進し、当センターの発展に多大の貢献をされました。株式会社沖縄急送（代表取締役社長濱田良衛）は、平成25年11月30日付けをもって退会しました。株式会社沖縄急送は平成2年入会以来24年に渡り陸上移動無線の効率的な電波利用を推進し、当センターの発展に多大の貢献をされました。

今後のますますのご発展を祈念いたします。

### 7 タクシーのデジタル無線局導入状況

タクシー無線のデジタル化は期限が迫っております。現在のアナログタクシー無線は、平成28年5月31日までに「デジタル方式」に移行する必要があります。

平成25年12月末現在、タクシーのデジタル無線局導入状況（デジタルMCA含む）は、運用・工事中を合わせ、全国では2,019社107,694局。沖縄管内では、22社、1,117局となっています。

#### タクシー事業用無線のデジタル移行の期限について

平成15年10月16日付けでデジタル通信方式の電波法関係審査基準策定（総務省）

#### ◎現行アナログ方式の使用期限及び条件

平成15年10月16日	デジタル方式の審査基準策定	デジタル申請可
平成16年		
平成17年		
平成18年		
平成19年		
平成20年		
平成21年		
平成22年		
平成23年6月1日以降	アナログ方式の新たな周波数の指定は行われぬ。 （増波は認めない）。 また、再免許及び陸上移動局の免許に当たっては、 「この周波数の使用は平成28年5月31日までとする。」 旨の付帯が付く	
平成24年	<div style="text-align: center;">  <p>アナログ方式使用の最終期限</p> </div>	
平成25年		
平成26年		
平成27年		
平成28年5月31日まで		
平成28年6月1日以降	<div style="text-align: center;">  <p>デジタル方式でない使用できない</p> </div>	

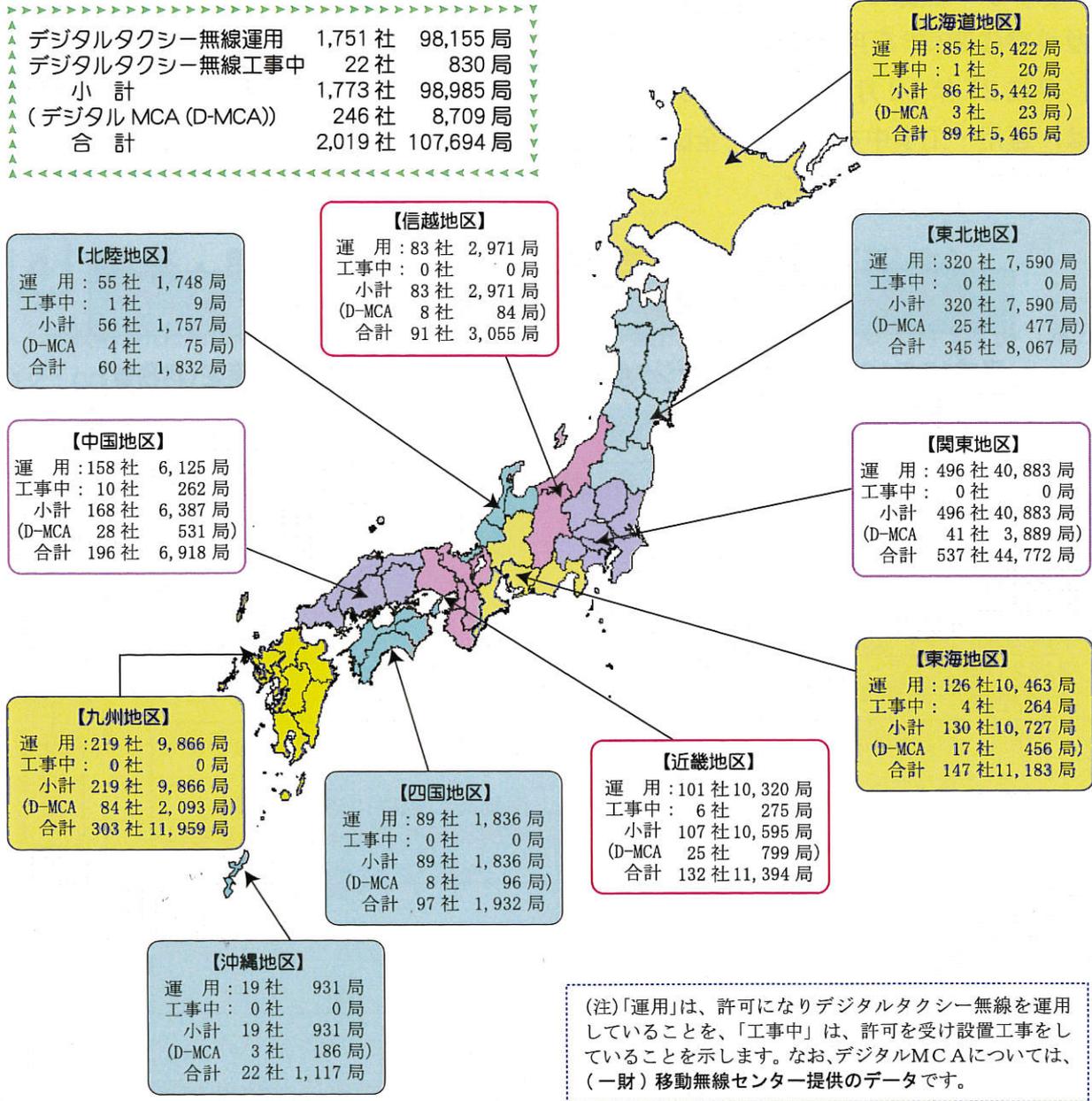
約7年間

約13年間



## タクシーのデジタル無線局 導入状況

デジタルタクシー無線運用	1,751社	98,155局
デジタルタクシー無線工事中	22社	830局
小計	1,773社	98,985局
(デジタルMCA (D-MCA))	246社	8,709局
合計	2,019社	107,694局



(注)「運用」は、許可になりデジタルタクシー無線を運用していることを、「工事中」は、許可を受け設置工事をしていることを示します。なお、デジタルMCAについては、(一財)移動無線センター提供のデータです。

(H25.12.31 現在)

## 謹賀新年

### 編集後記

昔よく見たテレビドラマに「人間万事塞翁が丙午」というのがありました。最近そのタイトルが中国の故事のパロディで、本来は「人間万事塞翁が馬」だと知りました。

ご存知のように故事には長い物語が有りまして、つまり人生における幸不幸は予測しがたく、安易に喜んだり悲しんだりするべきでないことです。

今年はいま年、少しのことに一喜一憂せず、こつこつと目の前のことに取り組んで行こうと誓った次第です。どうぞ宜しくお願い致します。 事務局

